

令和4年度

決算報告書

第17期事業年度

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

令和4年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,749	3,545	△ 203	
経常費用	3,749	3,522	△ 226	
業務費	3,215	3,080	△ 135	
教育研究経費	343	344	0	
診療経費	777	794	16	
受託研究費等	16	8	△ 7	(注1)
人件費	2,078	1,933	△ 145	
一般管理費	527	434	△ 92	(注2)
(減価償却費 再掲)	(273)	(213)	(△ 59)	
財務費用	6	8	1	(注3)
雑損	-	0	0	
臨時損失	-	22	22	(注4)
収益の部	3,484	3,565	80	
経常収益	3,484	3,561	77	
運営費交付金収益	1,639	1,637	△ 2	
授業料収益	402	386	△ 16	
入学金収益	62	60	△ 1	
検定料収益	8	8	△ 0	
附属病院収益	1,100	1,228	128	(注5)
受託研究等収益	16	8	△ 7	(注6)
補助金等収益	68	62	△ 5	
寄附金収益	22	32	9	(注7)
資産見返運営費交付金等戻入	25	23	△ 2	
資産見返補助金等戻入	77	41	△ 35	(注8)
資産見返寄附金戻入	8	9	0	
資産見返物品受贈額戻入	11	11	0	
財務収益	0	0	0	
雑益	42	52	10	(注9)
臨時利益	-	3	3	(注10)
当期純利益	△ 264	19	284	
当期総利益	△ 264	19	284	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 受託研究費等については、主として受託研究等収益が7百万円減少したことに伴い受託研究費等が同額執行されたため、予算金額に比して7百万円減少しました。
- (注2) 一般管理費については、主として施設整備補助金にて実施した工事が年度後期に偏ったことで減価償却費が当初見込みより減少したことにより、予算金額に比して92百万円減少しました。
- (注3) 財務費用については、主として医事会計システムリースによる支払利息が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注4) 臨時損失については、主として職員住宅解体工事に伴う固定資産除却損が発生したことにより、予算金額に比して22百万円増加しました。
- (注5) 附属病院収益については、主として外来診療収益が63百万円、入院診療収益が81百万円増加したことにより、予算金額に比して128百万円増加しました。
- (注6) 受託研究等収益については、受託研究等の件数が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して7百万円減少しました。
- (注7) 寄附金収益については、寄附金を財源とした支出の増加に伴って収益化額が増加したことにより、予算金額に比して9百万円増加しました。
- (注8) 資産見返補助金等戻入については、主として施設整備補助金にて実施した工事が年度後期に偏ったことにより、予算金額に比して35百万円減少しました。
- (注9) 雑益については、主として附属病院雑益が当初見込みを4百万円増加したことにより、予算金額に比して10百万円増加しました。
- (注10) 臨時利益については、主として医療機器の破損賠償保険金として1百万円計上されたことにより、予算金額に比して3百万円増加しました。

令和4年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	4,225	4,487	261	
業務活動による支出	3,418	3,273	△ 144	(注1)
投資活動による支出	636	550	△ 85	(注2)
財務活動による支出	94	145	50	(注3)
翌年度への繰越金	76	518	441	
資金収入	4,225	4,487	261	
業務活動による収入	3,853	4,006	152	
運営費交付金収入	1,648	1,712	63	
授業料収入	384	386	2	
入学金収入	62	60	△ 1	
検定料収入	8	8	△ 0	
附属病院収入	1,100	1,227	127	(注4)
受託研究等収入	16	9	△ 6	(注5)
補助金等収入	569	528	△ 41	(注6)
寄附金収入	22	18	△ 4	(注7)
その他の収入	42	54	11	(注8)
投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	-	-	-	
前年度からの繰越金	371	480	108	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注2) 投資活動による支出については、主として施設整備補助金による更新工事の費用が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して85百万円減少しました。
- (注3) 財務活動による支出については、主として医事会計システムのリース支出が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して50百万円増加しました。
- (注4) 附属病院収入については、主として外来診療収入が63百万円、入院診療収入が81百万円増加したことにより、予算金額に比して127百万円増加しました。
- (注5) 受託研究等収入については、受託研究等の件数が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して6百万円減少しました。
- (注7) 寄附金収入については、奨学寄附金が当初見込みを下回ったことにより、予算金額に比して4百万円減少しました。
- (注8) その他の収入については、主として附属病院雑収益が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して11百万円増加しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

- (注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,326百万円に、当期末未払金219百万円を加算し、前期末未払金271百万円を減算して算出しています。
- (注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額390百万円に、当期末未払金220百万円を加算し、前期末未払金60百万円を減算して算出しています。
- (注6) 補助金等収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額318百万円に、当期末未収金240百万円を加算し、前期末未収金31百万円を減算して算出しています。